

部局名	安全環境部			所属名	消費生活センター			所属長名	鈴木 敏夫			電 話	485-0559		
-----	-------	--	--	-----	----------	--	--	------	-------	--	--	-----	----------	--	--

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3848		事務事業名称	消費生活センター維持管理事業							短縮コード	経常	3848	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計		款	03	民生費		項	01	社会福祉費	目	08	市民生活費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他					根拠法令等									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）															
昭和50年消費生活センター設置に関する請願採決を受け昭和52年6月勝田台に開設し、勝田台文化センター建設に伴い昭和60年11月大和田に移転し、平成18年度4月の組織改正に伴い市役所第2別館内に移転しセンター内部の設備の維持管理を行っている。															
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測 旧施設の老朽化により移転はしたが、センタースペースが狭い等改善を要す。						総合計画の施策体系	5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして						
							大項目（節）	02	消費者行政						
							中 項 目	01	消費者行政						
							小項目（施策）	02	消費者利益の保護						
							細 項 目	03	消費生活センターの充実						
							実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無				☐		計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	消費生活センター内部設備の維持管理														
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成17年度に実際に行ったこと： 各種委託(警備・清掃等)修繕事務														
	※平成18年度に計画していること： 電子複写機保守委託等														
意図 （何を狙っているのか）	不具合を出さない、不具合発生時に迅速に対応する。														
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	センター業務を円滑に推進する。														
区 分						単位	16年度		17年度		18年度				
							実績		計画		実績		計画		
対象指標	指標1	面積				m ²	315		315		315		47		
	指標2														
	指標3														
活動指標	指標1	対象面積				m ²	315		315		315		47		
	指標2	修繕件数				件	1		2		1		2		
	指標3														
成果指標	指標1	迅速に対応できた件数/不具合発生件数				件	1		2		1		2		
	指標2														
	指標3														
上位成果指標	指標1														
	指標2														
	指標3														

コード		3848	事務事業名称	消費生活センター維持管理事業			所属名	消費生活センター
			単位	１６年度	１７年度		１８年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0	
		県	千円	702	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	3,473	2,664	2,422	427	
		その他	千円	0	0	0	0	
	主な事業費の内訳			警備委託75,600円清掃業務委託291,900円	警備委託75,600円清掃業務委託291,900円	警備委託75,600円 清掃業務委託291,900円	委託料 び賃借料	158千円使用料及 235千円
	人件費(B)			千円	4,420.4	4,401.3	4,418.7	
トータルコスト(A)+(B)			千円		8,595.4	7,065.3	6,840.7	
							4,845.7	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		「消費者利益の保護」を推進するため、消費生活センター維持管理事業を実施している。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		市役所第２別館内に置ける消費生活センタースペースが狭いため改善が必要。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		センター内部設備の維持管理のため、民営化はできないない。				
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		現状の対象・意図により不具合発生時に対応できる。				
			☐ 見直す必要がある						
☐ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☒ 有効性向上の可能性はある						
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☐ 可能性がない						
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、 具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等		市役所第２別館内センタースペースが全体的に狭く使いにくため、改善を図ることにより消費者（市民）が相談など安心して使いやすくする。				
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ ＩＴ化等業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 （所管部署）	
			☒ 上記以外の方法						
	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☒ ある		既存施設のため改善のため費用が必要。				
			☐ ない						

コード	3848	事務事業名称	消費生活センター維持管理事業				所属名	消費生活センター
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			消費生活センターの全体スペースが狭いため改善し拡大が必要。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☒ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			改善を図ることにより消費者（市民）が、相談など安心して使いやすくする。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
市役所第２別館に移転した事により市民に判りやすく、利用しやすくなったが、全体的に狭いため改修が必要。									

所属長コメント	旧センター（昭和60年大和田に移転）の老朽化が進んでいたところ、平成18年度組織改正に伴い４月に市役所第２別館内に移転し利便性は良くなったがセンターの全体スペース（事務室・相談室等）が狭いため改善の必要がある。								
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続			経費が増加することから、十分検討を行い実施すべき。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☒ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									